

「三重県の食に関する取組について」と「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」e－モニターアンケート実施報告書

「三重県の食に関する取組について」と「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」のアンケートの実施結果を、下記のとおりご報告いたします。

アンケートにご協力いただきましたe－モニターの皆様には厚くお礼を申し上げます。

結果につきましては、今後の取組に活用させていただきます。

アンケート概要

- 1 実施期間 令和3年11月24日（水）から12月10日（金）まで
- 2 対象者数 1,181人
- 3 回答数 784人
- 4 回答率 66.4%
- 5 回答者属性

【年齢階層別】

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
回答者数	2人	44人	109人	196人
構成比	0.3%	5.6%	13.9%	25.0%
年代	50歳代	60歳代	70歳代以上	
回答者数	211人	166人	56人	
構成比	26.9%	21.2%	7.1%	

【地域別】

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
回答者数	382人	226人	98人	61人	17人
構成比	48.7%	28.8%	12.5%	7.8%	2.2%

北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

中南勢：津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

伊賀：名張市、伊賀市

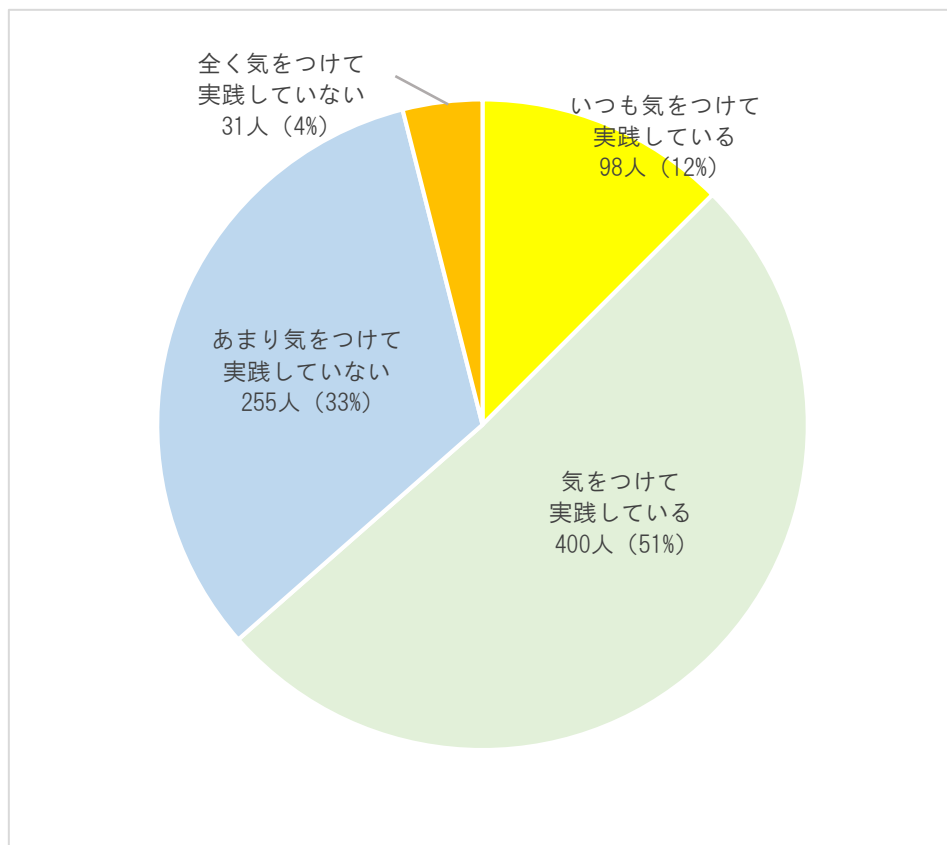
東紀州：尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

（注）グラフ、説明文中の割合は小数点第1位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

○アンケート結果

(Q1 健康を意識した食生活の実践について)

生活習慣病の予防や改善のために、あなたはふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

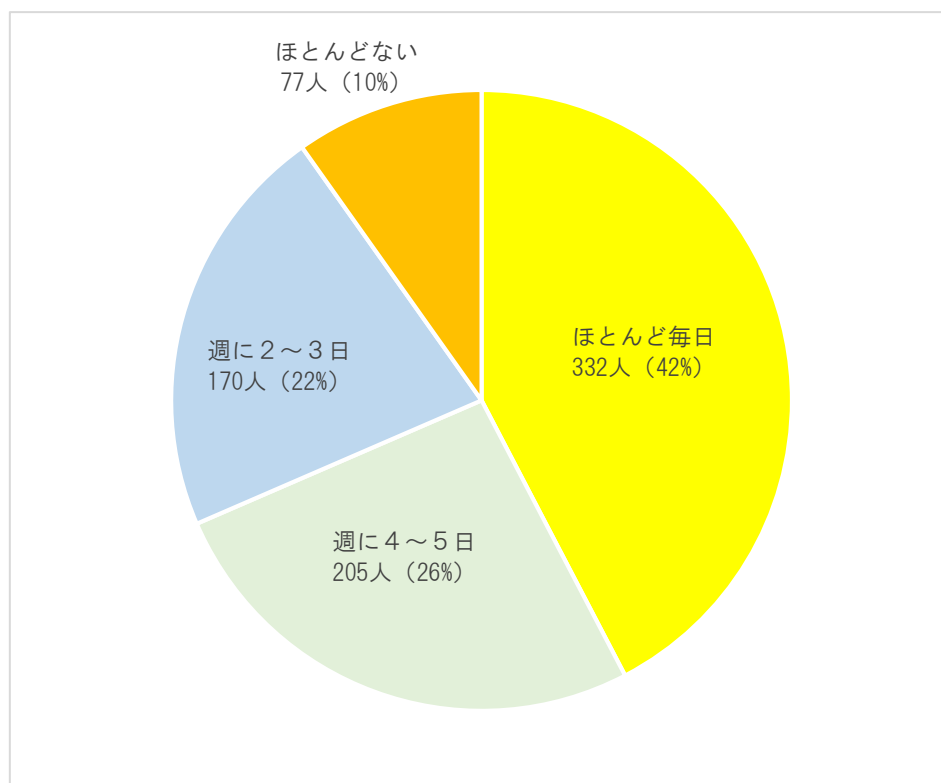


健康を意識した食生活を実践しているかについてお聞きした結果、「いつも気をつけて実践している」「気をつけて実践している」と回答された方が498人(63%)、「あまり気をつけて実践していない」「全く気をつけて実践していない」と回答された方は286人(37%)でした。

令和2年度のe-モニターアンケートで「いつも気をつけて実践している」「気をつけて実践している」と回答された方は68%であり、健康を意識した食生活を実践している人の割合が減少しました。

(Q2 バランスよく食べることについて)

主食（ごはん、パン、麺類などの料理）、主菜（魚介類、肉類、卵類、大豆・大豆製品を主材料にした料理）、副菜（野菜類、海藻類、きのこ類を主材料にした料理）の3つを組み合わせる食べることが1日に2回以上あるのは週に何日ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



バランスよく食事するかどうかについてお聞きした結果、主食、主菜、副菜の3つを組み合わせる食べることが1日に2回以上あるのが「ほとんど毎日」と回答された方が332人（42%）、「週に4～5日」と回答された方が205人（26%）で、週の半分以上の日でバランスよく食事できているのは537人（68%）と全体の約7割を占めていました。

令和2年度のe-モニターアンケートでは70%であり、バランスよく食べる人の割合がわずかに減少しました。

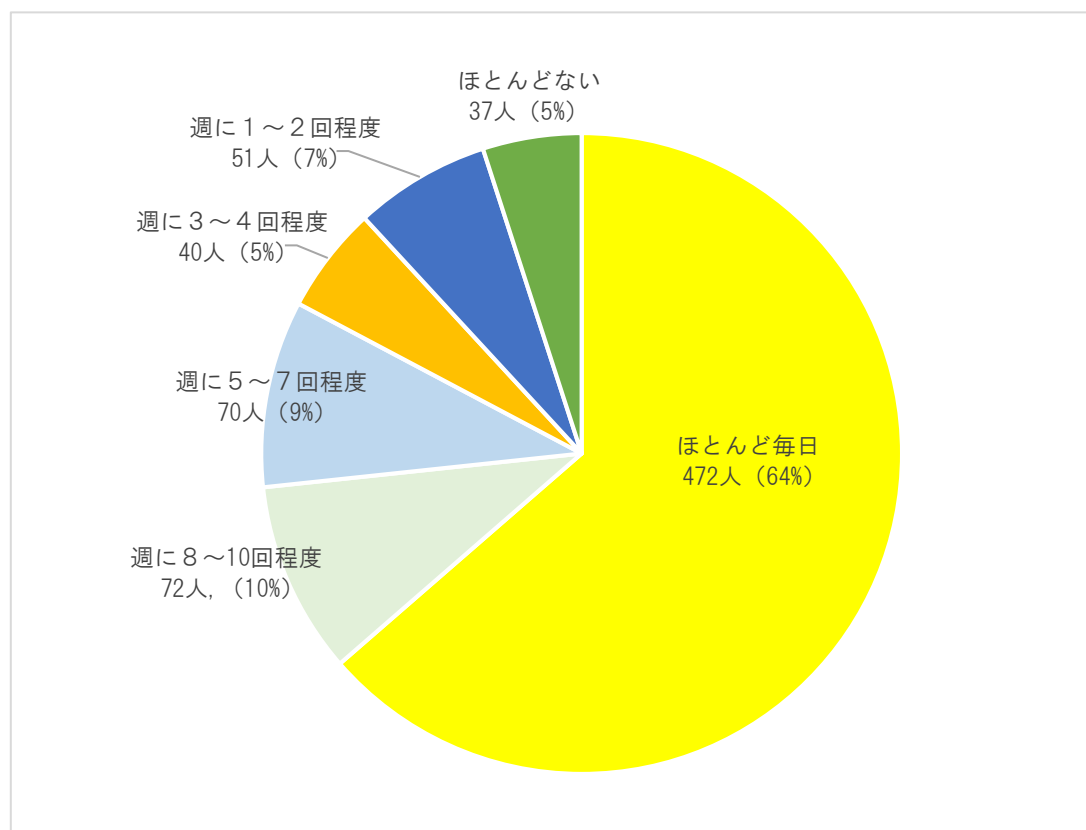
(Q3 家族との食事について)

同居家族がいらっしゃる方にお聴きします。

家族と一緒に食事をする機会はどの程度ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※ 家族数は問いません。

※ 朝食および夕食の場合でお答えください。(1週間で総数14回になります。)

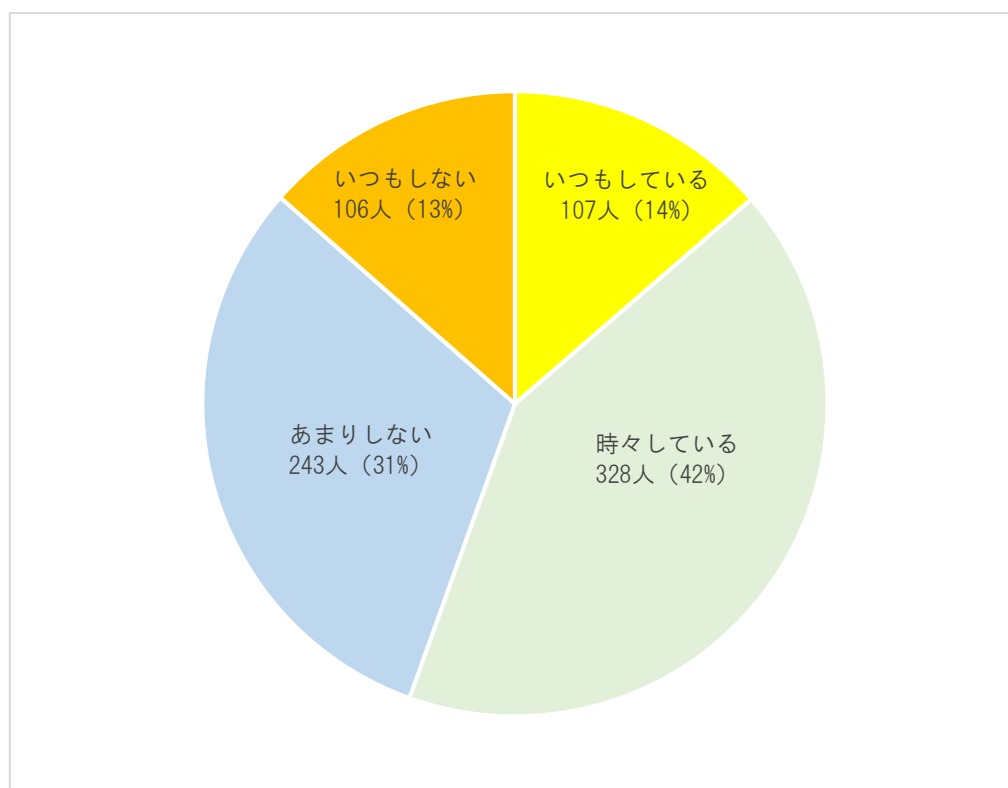


家族と一緒に食事をする機会について回答していただいた方 742 人のうち、「ほとんど毎日」と回答された方が 472 人 (64%) でした。「週に 8～10 回程度」と回答された方 72 人 (10%) を合わせると 544 人 (73%) で 7 割を超えました。

令和 2 年度の e-モニターアンケートでは「ほとんど毎日」「週に 8～10 回程度」と回答された方は 66% であり、家族と一緒に食事をする人の割合が増えました。

(Q4 栄養成分表示について)

容器包装に入れられた加工食品には、エネルギーや栄養成分（たんぱく質、塩分など）の含有量が表示されていますが、あなたはふだん食品を購入する時に、栄養成分の表示を参考にしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

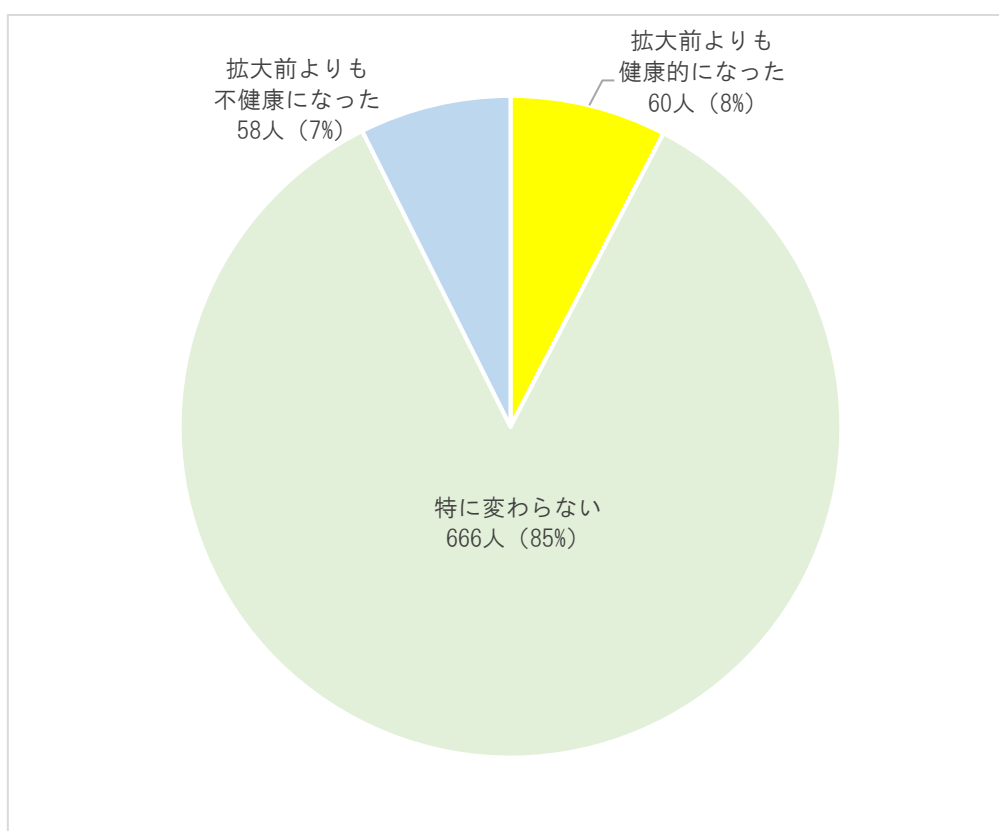


食品を購入する時に栄養成分表示を参考にしているかについてお聞きした結果、「いつもしている」と回答された方が107人（14%）でした。「時々している」と回答された方328人（42%）を合わせると435人（56%）で、半数以上の方が栄養成分表示を参考にしていました。

令和2年度のe-モニターアンケートでは、「いつもしている」「時々している」と回答された方は54%であり、食品を購入するときに、栄養成分表示を参考にする人の割合は増加しています。

(Q5 新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活の変化・影響について)

新型コロナウイルス感染症の拡大前後で、あなたのふだんの食生活に変化や影響がありましたか。あてはまるものを1つ選んでください。



新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活の変化についてお聞きした結果、「特に変わらない」と回答された方が666人（85%）で大多数を占めました。

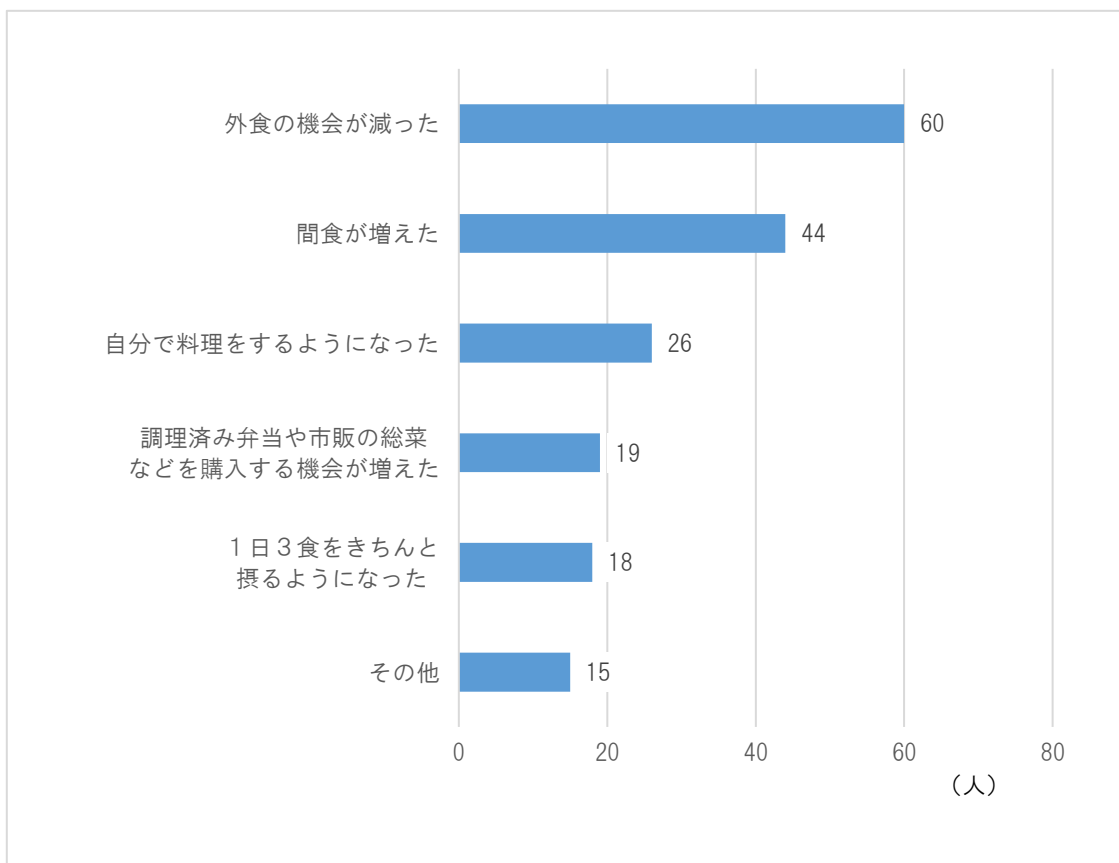
一方で、変化があったと回答された方は、「拡大前よりも健康的になった」の60人（8%）と「拡大前よりも不健康になった」の58人（7%）でほぼ同数でした。

令和2年度のe-モニターアンケートでは、「拡大前よりも不健康になった」が4%であり、拡大前より不健康になった人が増加しています。

(Q6 新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活の変化・影響について 2)

Q5で「拡大前よりも健康的になった」または「拡大前よりも不健康になった」を選んだ方にお聞きします。

食生活で変化のあった具体的な事柄は何ですか。あてはまるもの全て選んでください。

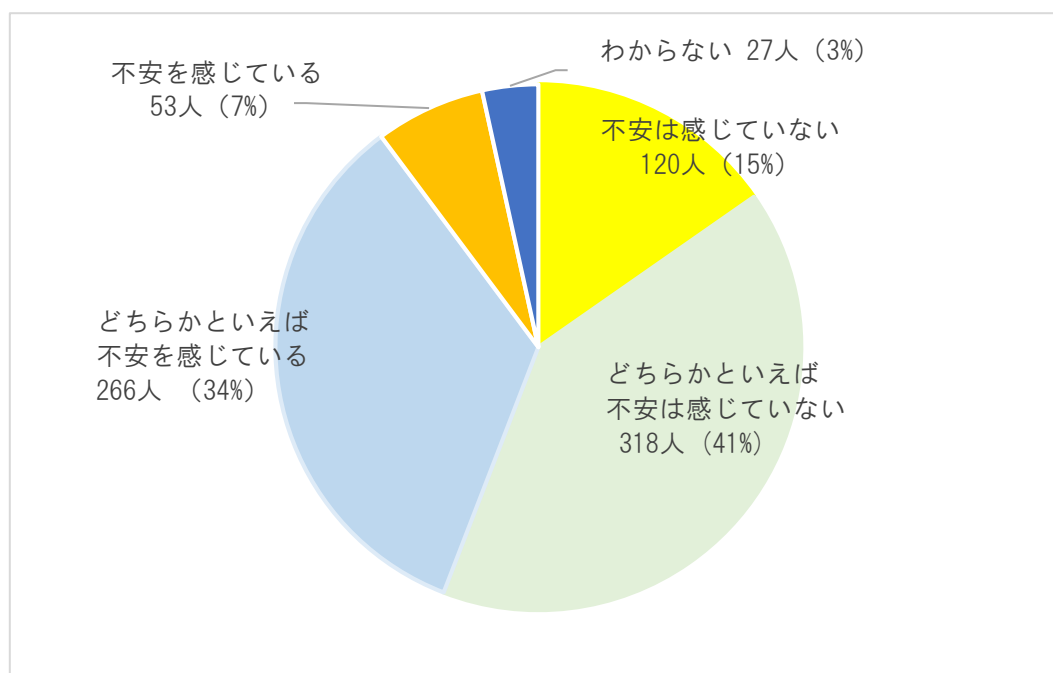


Q5で「拡大前よりも健康的になった」または「拡大前よりも不健康になった」と回答された方 118 人について、食生活で変化のあった事柄をお聞きしたところ、「外食の機会が減った」が 60 人 (51%) で最も多く、次いで「間食が増えた」44 人 (37%)、「自分で料理するようになった」26 人 (22%)、「調理済み弁当や市販の総菜などを購入する機会が増えた」19 人 (16%)、「1日3食をきちんと摂るようになった」18 人 (15%) と続きました。

令和2年度のe-モニターアンケートと比較すると、「間食が増えた」が27%から10%増加しています。また、「1日3食をきちんと摂るようになった」が20%から5%減少しており、食生活が悪化傾向にある可能性があります。「自分で料理するようになった」については、19%から少し増加しています。

(Q7 食品の安全性について)

あなたは、食品の安全性について、ふだん不安を感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。



食品の安全性についてお聞きした結果、「不安を感じている」「どちらかといえば不安を感じている」と回答された方の合計が319人(41%)、「不安は感じていない」「どちらかといえば不安は感じていない」と回答された方の合計は438人(56%)でした。この結果は、令和2年度のe-モニターアンケートの結果とほとんど変わりませんでした。

(参考：令和2年度)

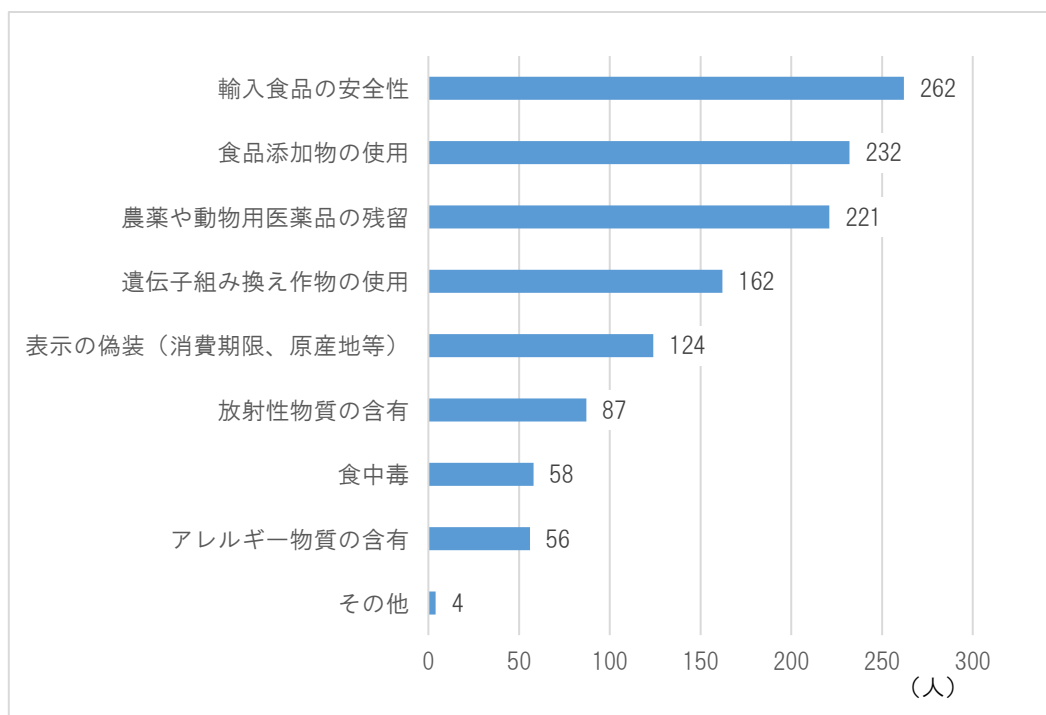
「不安を感じている」、「どちらかといえば不安を感じている」：43%

「不安は感じていない」「どちらかといえば不安は感じていない」：55%

(Q8 不安を感じる理由について)

Q7で「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」を選んだ方にお聞きします。

あなたは、食品の安全性について、どのような不安を感じていますか。あてはまるものをすべて選んでください。



食品の安全性について、「不安を感じている」「どちらかといえば不安を感じている」と回答された方319人に、「どのような不安を感じているか」をお聞きした結果、最も多かった回答は「輸入食品の安全性 (262人)」でした。次に「食品添加物の使用 (232人)」、「農薬や動物用医薬品の残留 (221人)」と続きました。

三重県では、県職員が県民の皆さんの集会等に伺い、県政に関するテーマについて意見交換させていただく「みえ出前トーク」を実施しています。

「みえ出前トーク」のテーマの一つに「みんなで取り組む食の安全・安心」があり、この中で「食の安全・安心確保のために県が進めている取組や食の安全・安心に関して知っておきたい正しい知識」について説明させていただいております。講師の派遣は無料なので、是非ご活用ください。

令和3年度の「みえ出前トーク」については、下記のホームページをご覧ください。

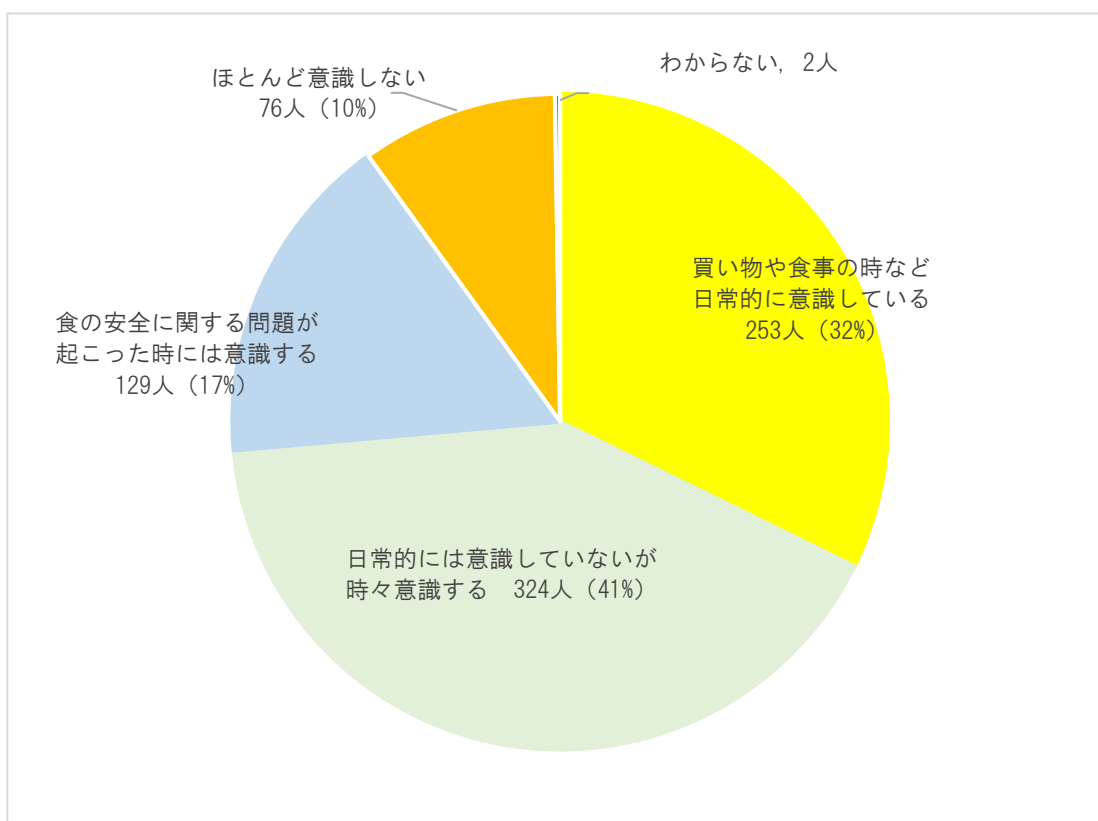
HPアドレス：<https://www.pref.mie.lg.jp/KOH0/HP/m0006200093.htm>

QRコード：



(Q9 食の安全に関する意識について)

あなたは、食の安全についてふだんどの程度意識しますか。あてはまるものを1つ選んでください。



どのような時に食の安全を意識するかをお聞きした結果、「買い物や食事の時など日常的に意識している」、「日常には意識していないが時々意識する」と回答された方が合計で577人(73%)、「食の安全に関する問題が起こった時には意識する」、「ほとんど意識しない」と回答された方は合計で205人(27%)でした。この結果は、令和2年度のe-モニターアンケートの結果とほとんど変わりませんでした。

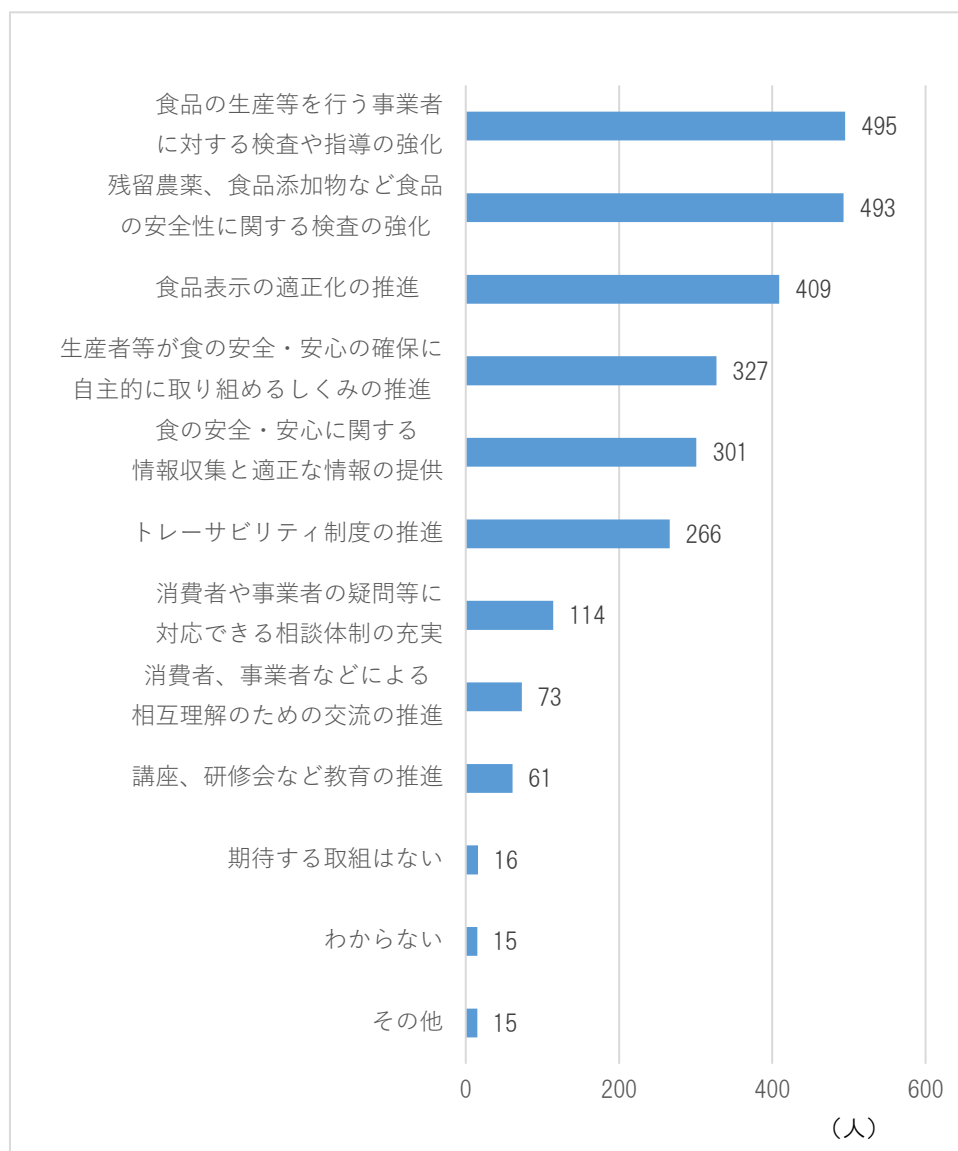
(参考：令和2年度)

「買い物や食事の時など日常的に意識している」、「日常には意識していないが時々意識する」：77%

「食の安全に関する問題が起こった時には意識する」、「ほとんど意識しない」：23%

(Q10 食の安全・安心のために行政（国、県、市町）に期待する取組について)

あなたが食品の安全・安心を得るために、行政に期待する取組はどれですか。
あてはまるものをすべて選んでください。



食の安全・安心のために行政に期待する取組についてお聞きした結果、もっとも多かった回答は「食品の生産、加工、販売などを行う事業者に対する検査や指導を強化する」でした（495人）。次に「残留農薬、食品添加物など食品の安全性に関する検査を強化する（493人）」、「食品表示の適正化を推進する（409人）」と続きました。

県では、食品や農畜産物の生産・製造・流通段階での監視指導や検査を実施するとともに、食品表示の適正化を推進しております。監視指導や検査等の実施状況については、下記のホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

(食の安全確保のための監視指導計画とその結果)

HPアドレス：<https://www.pref.mie.lg.jp/SHOKUA/HP/69485043445.htm>

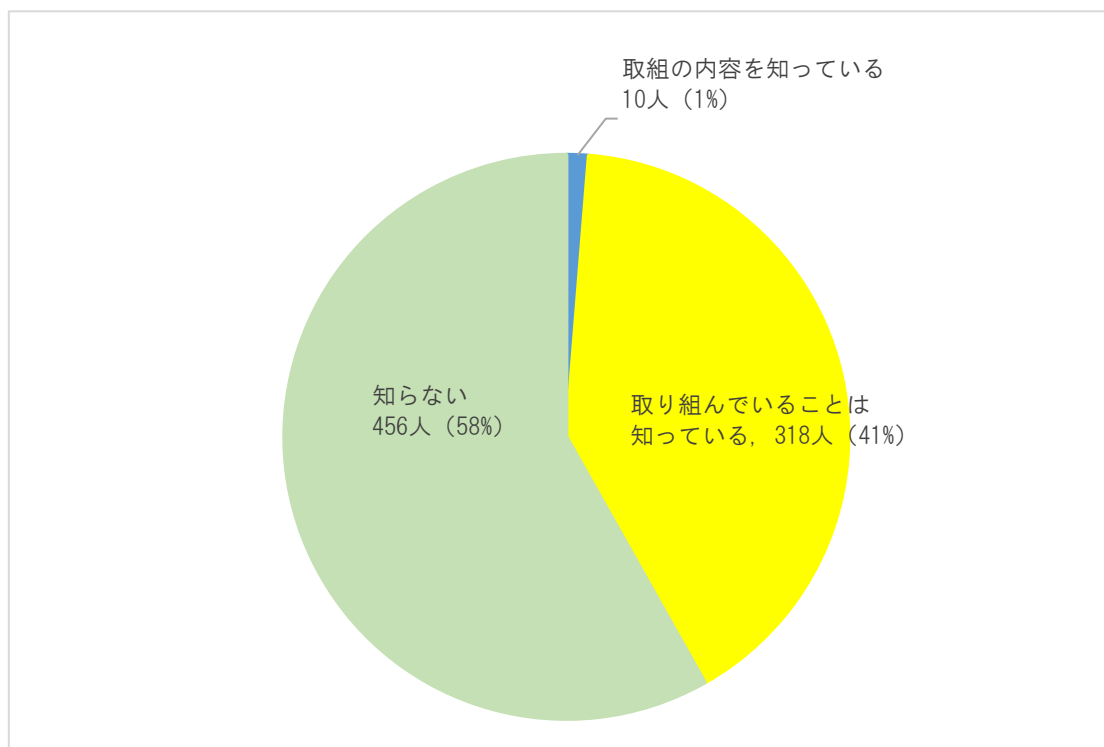
QRコード：



(Q11 食の安全・安心確保のための行政（国、県、市町）の取組について)

あなたは、食の安全・安心確保のために、現在行政が取り組んでいる具体的な取組をどの程度ご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

※Q10 の回答に具体的な取組内容を掲載しております。



食の安全・安心確保のための行政の取組についてお聞きした結果、「取組の内容を知らない」と回答された方は456人（58%）となり、「取組の内容を知っている」「取り組んでいることは知っている」と回答された方の合計328人（42%）を上回りました。

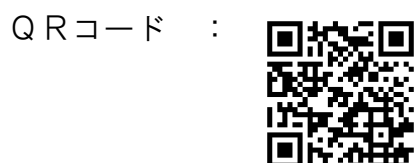
三重県のホームページ「食の安全・安心ひろば」では、

- ・食の安全確保のための監視指導計画とその結果
- ・食に関する新しい情報や生活に役立つ知識
- ・私たち三重県の「食の安全・安心を守るための取組」

等を掲載しておりますので、是非ご覧ください。

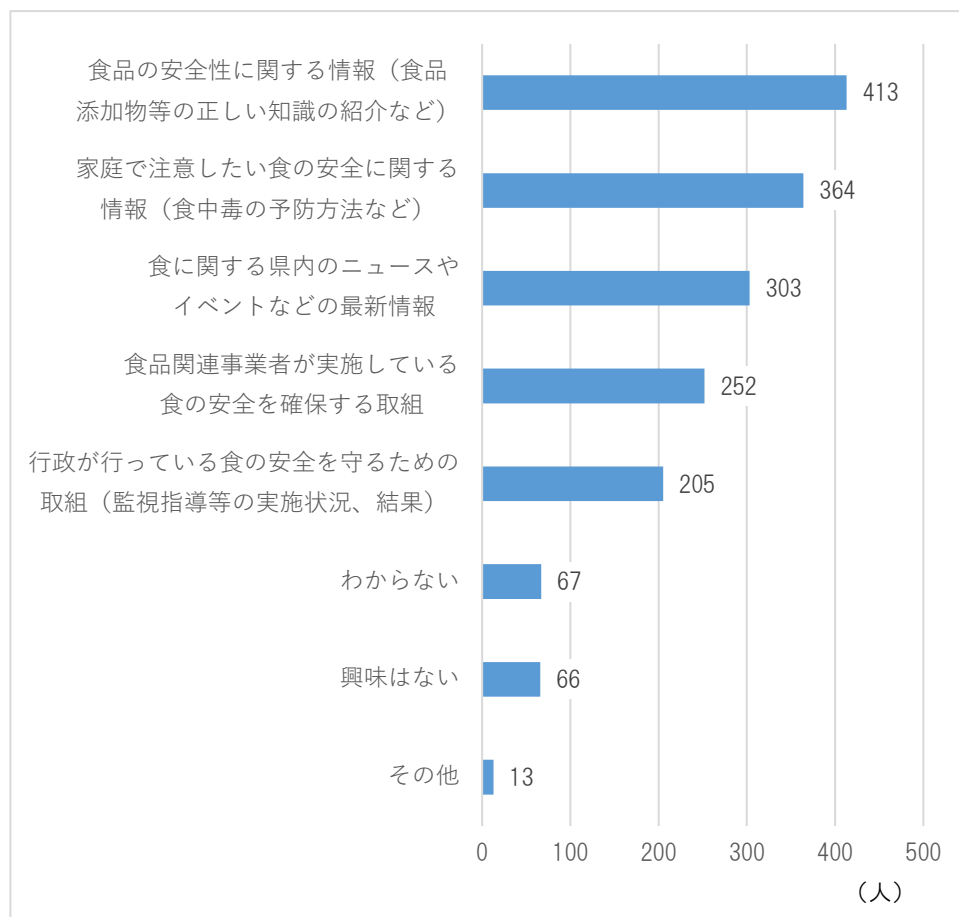
（食の安全・安心ひろば）

HPアドレス：<https://www.pref.mie.lg.jp/SHOKUA/HP/index.htm>



(Q12 三重県のホームページ「食の安全・安心ひろば」について)

三重県では、「食の安全・安心ひろば」というホームページにおいて、食の安全・安心に関する情報や県及び食品関連事業者の取組などを掲載しています。あなたは、県のホームページ「食の安全・安心ひろば」に、どんな情報が掲載されていれば見てみたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。



県のホームページ「食の安全・安心ひろば」に、どんな記事が掲載されていれば見てみたいと思うかをお聞きした結果、もっとも多かった回答は「食品の安全性に関する情報 (413人)」でした。次に「家庭で注意したい食の安全に関する情報 (364人)」、「食に関する県内のニュースやイベントなどの最新情報 (303人)」と続きました。

ホームページ「食の安全・安心ひろば」では、最新の食のイベントや食に関する注意情報を掲載しております。また、ホームページ内の「気になる言葉」ページには、「食中毒」や「食品添加物」等に関する情報を掲載しておりますが、いただいた回答を参考にホームページの掲載項目や内容等について、検討していきたいと考えております。

(気になる言葉)

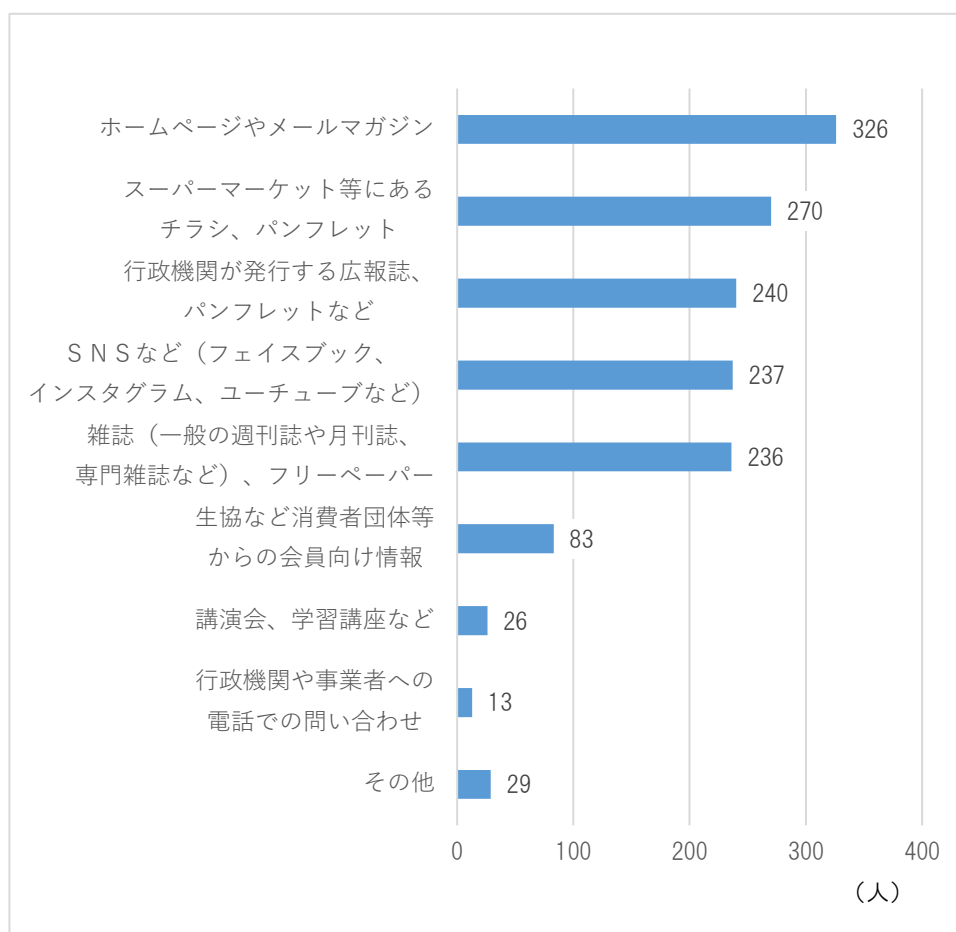
HPアドレス：<http://www.pref.mie.lg.jp/SHOKUA/HP/69116043897.htm>

QRコード：



(Q13 食の安全・安心に関する情報を得る手段について)

あなたは食の安全・安心に関する情報を知りたいと思った時、テレビ、ラジオ、新聞以外では、どのような方法で情報を得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。



どのような方法で食の安全・安心に関する情報を得ているかをお聞きしたところ、もっとも多い回答は「ホームページやメールマガジン（326人）」でした。次いで、「スーパーマーケット等にあるチラシ、パンフレット（270人）」「行政機関が発行する広報誌、パンフレットなど（240人）」が続きました。

「ホームページやメールマガジン」から情報を入手される方がもっとも多いことが分かりましたが、「チラシ」や「パンフレット」、「雑誌」などの印刷物からも情報を得られている方も多い結果でしたので、県では、今後とも多様な方法で情報を発信していきたいと考えております。

(Q14 「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」について)

三重県議会では、県議会の活動内容を広く発信して県民の皆さんに県議会への関心を持っていただけるよう、毎年、年末に「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」を選定しています。

この度、皆さまからの投票結果等を参考に、2021年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」を次のとおり選定しました。

投票にご協力いただき、ありがとうございました。

【住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進】

- 新型コロナウイルス感染症への対応
《国に意見書提出、補正予算を先議など》 (2月～)

【独自の政策提言と政策立案の強化】

- 「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」で検討を継続
《さまざまな差別の解消に向け、条例案素案の検討などを実施》 (1月～)
- 議員提出条例として「三重の木づかい条例」を可決
《木材利用を推進するための県の取り組みなどを定める》 (3月)

【議員報酬、政務活動費及び選挙など】

- 政務活動費の減額 《45%減額》 (1月～6月)
- 「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例」の可決
《現在の定数51人から48人に》 (5月)

【その他】

- 三重県茶業会議所と共催で「おいしい伊勢茶の淹れ方教室」を開催
《伊勢茶の魅力を発信》 (3月)
- 「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置
《議会のスマート化に向け、検討を始める》 (3月)
- 全議員にタブレットを配付 《タブレット勉強会を実施》 (3月)
- 「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置
《三重県議会議員の政治倫理に関する検討を始める》 (6月)
- 新型コロナウイルス感染症等に対応するため緊急会議を7回開催
《補正予算を可決》 (1月～)

2021年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」の投票結果

ベスト10	選考基準	No.	項目	総得票数	内訳					
					HP閲覧者・傍聴者		e-モニター		議員	
					得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
		1	県議会新体制発足《3年目の議会活動をスタート》（5月）	117	31	25.6%	72	9.2%	14	27.5%
●	①	2	新型コロナウイルス感染症への対応《国に意見書提出、補正予算を先議など》（2月～）	540	52	43.0%	458	58.4%	30	58.8%
		3	「令和3年版成果レポート」に関し申し入れ《全常任委員長から知事へ》（8月）	75	14	11.6%	51	6.5%	10	19.6%
		4	新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けたメッセージ《正副議長から県民の皆さまへ》（9月）	293	29	24.0%	251	32.0%	13	25.5%
●	①	5	「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」で検討を継続《さまざまな差別の解消に向け、条例案素案の検討などを実施》（1月～）	239	36	29.8%	176	22.4%	27	52.9%
●	①	6	議員提出条例として「三重の木づかい条例」を可決《木材利用を推進するための県の取り組みなどを定める》（3月）	237	42	34.7%	160	20.4%	35	68.6%
		7	「花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会」を設置《意欲的に県内調査などを実施》（5月）	233	29	24.0%	183	23.3%	21	41.2%
		8	三重県で「紀伊半島三県議会交流会議」を開催《共通課題について国へ要望》（7月）	150	24	19.8%	112	14.3%	14	27.5%
●	①	9	政務活動費の減額《4.5%減額》（1月～6月）	393	60	49.6%	305	38.9%	28	54.9%
●	①	10	「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例」の可決《現在の定数51人から48人に》（5月）	324	61	50.4%	222	28.3%	41	80.4%
		11	県議会議員桑名市・桑名郡選挙区補欠選挙（欠員1）の実施《51人目の県議会議員が誕生》（9月）	41	9	7.4%	25	3.2%	7	13.7%
		12	「大規模地震対応マニュアル」に基づく訓練の実施《大規模災害時のメールによる安否報告訓練》（2月）	354	31	25.6%	311	39.7%	12	23.5%
●	②	13	三重県茶業会議所と共催で「おいしい伊勢茶の淹れ方教室」を開催《伊勢茶の魅力を発信》（3月）	171	37	30.6%	112	14.3%	22	43.1%
●	①	14	「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置《議会のスマート化に向け、検討を始める》（3月）	214	40	33.1%	152	19.4%	22	43.1%
●	②	15	全議員にタブレットを配付《タブレット勉強会を実施》（3月）	168	48	39.7%	88	11.2%	32	62.7%
●	②	16	「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置《三重県議会議員の政治倫理に関する検討を始める》（6月）	168	33	27.3%	111	14.2%	24	47.1%
		17	「議員選出監査委員の在り方」及び「議長・副議長の在任期間」について議会改革推進会議で検討《各党派の意見をもとに検討中》（6月）	104	24	19.8%	72	9.2%	8	15.7%
●	①	18	新型コロナウイルス感染症等に対応するため緊急会議を7回開催《補正予算を可決》（1月～）	372	57	47.1%	284	36.2%	31	60.8%
		19	その他	8	4	3.3%	3	0.4%	1	2.0%
得票総数				4,201	661		3,148		392	
投票者数				956 (754)	121 (129)		784 (575)		51 (50)	

() は前年の投票者数

●は「ベスト10」に選定したものの

■は各投票の上位10項目

①は3つの投票結果の全てで上位10位以内に入ったもの（7つ）

②は2つの投票結果で上位10位以内に入ったもの（3つ）

※得票率：得票数／投票者数

※HP閲覧者の投票者数：105人（昨年：115人）


※傍聴者の投票者数：16人（昨年：14人）

※e-モニター登録者数：1,181人（回答率66.3%）
（昨年：951人（回答率60.5%））

2021年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」（概要）

（令和3年12月24日発表）

～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～

2月～	① 新型コロナウイルス感染症への対応 《国に意見書提出、補正予算を先議など》
<p>令和3年6月定例会会議において、新型コロナウイルスへの対応に関する意見書を全会一致で可決し、議長から国関係機関等に提出しました。</p> <p>2月、6月、9月定例会会議のほか、1月、5月、8月、9月には緊急会議を開催し、全員協議会において随時県当局の対策等を確認しながら、提出された新型コロナウイルス感染症に関する関連補正予算14件を迅速に審議・可決しました。</p> <p>なお、2月、6月、9月定例会会議では、感染拡大防止に向けた取り組みを速やかに実行できるよう関連補正予算の先議を行いました。</p>	
	
<p>新型コロナウイルスに関する 補正予算可決</p>	

～独自の政策提言と政策立案の強化～

1月～	② 「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」で検討を継続 《さまざまな差別の解消に向け、条例案素案の検討などを実施》
<p>さまざまな差別の解消に向け、既存の条例との整合を図りながら、新たな条例制定も視野に入れ、調査・検討を行うため、令和2年5月に「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」を設置しました。</p> <p>令和2年に実施した調査や参考人招致を踏まえ、本年は10月までに16回会議を開催し、差別解消に向けた課題等に係る各委員の意見の整理、差別解消に向けた条例の在り方の方向性等に係る委員間討議、条例案素案の検討等を実施しました。</p> <p>引き続き、条例案の策定に向けて取り組んでいきます。</p>	
	
<p>委員間討議</p>	

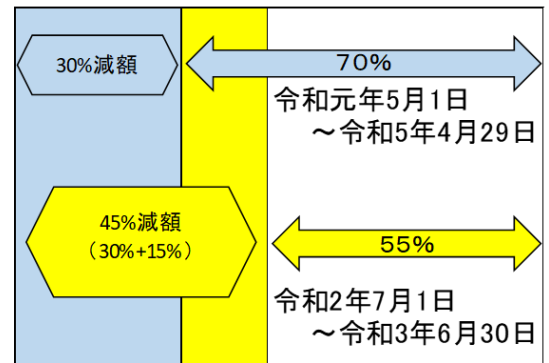
3月	③ 議員提出条例として「三重の木づかい条例」を可決 《木材利用を推進するための県の取り組みなどを定める》
<p>三重県産材の利用を促進していくための条例の制定に向けて調査および検討を行うため、令和2年1月に「三重県産材利用促進に関する条例検討会」を設置しました。</p> <p>木材利用に関わる関係者からの聴き取りや県内調査などを踏まえて検討を進め、本年3月に条例案を提出し、同月に「三重の木づかい条例」が可決・成立しました。</p> <p>条例では、県産材の利用を最も優先することを掲げ、木材利用の推進に関して、基本理念や関係主体の責務、県の取り組みなどについて定めています。</p>	



本会議において議案説明

～議員報酬、政務活動費及び選挙など～

1月～6月	④ 政務活動費の減額《45%減額》
<p>新型コロナウイルス感染症対策の推進に資するため、政務活動費を減額しました。</p> <p>その内容は、令和元年5月から令和5年4月までの間、既に30%減額しているところに加えて、令和2年7月から令和3年6月までの間、更に15%減額を上乗せし、計45%減額するものです。</p> <p>この政務活動費の減額は、令和2年6月30日、議員提出議案として本会議に提出し、同日可決しました。</p>	



政務活動費

5月 ⑤「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例」の可決
《現在の定数51人から48人に》

令和2年10月に提出された「選挙区及び定数に関する在り方調査会」の報告書等を踏まえ、地域間の均衡を考慮しつつ、県内の各選挙区間における一票の格差の是正等を図るため、本年4月に議員提出議案として「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案」を提出し、5月11日、可決しました。

改正内容については次のとおりです。

- 定数を51人から48人とする
- 伊勢市選挙区と鳥羽市選挙区を合区し、伊勢市・鳥羽市選挙区とする（定数4人）
- 尾鷲市・北牟婁郡選挙区と熊野市・南牟婁郡選挙区を合区し、東紀州選挙区とする（定数3人）
- 伊賀市選挙区の定数を3人から2人とする

なお、この条例は、次の一般選挙から施行することとしています。



出典：みえ県議会新聞
令和3年度（2021年度）NO.1
制作：伊勢新聞社

～その他～

3月 ⑥ 三重県茶業会議所と共催で「おいしい伊勢茶の淹れ方教室」を開催
《伊勢茶の魅力発信》


3月5日、伊勢茶の振興に寄与するため、三重県議会議事堂1階エントランスホールにおいて、議会と三重県茶業会議所が共催で「おいしい伊勢茶の淹れ方教室」を開催しました。


おいしい伊勢茶の淹れ方を学ぶとともに、飯南高校美術部の生徒によるお茶ラテのラテアートの実演を通じて新たな伊勢茶の楽しみ方を知るなど、伊勢茶の魅力を確認しました。

なお、県の緊急警戒宣言発令中でもあり、検温や消毒など、新型コロナウイルス感染症に関する感染防止対策を徹底した上での開催となりました。



高校生によるお茶ラテアートの実演

3月	⑦ 「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置 《議会のスマート化に向け、検討を始める》
<p>3月31日、議会のスマート化について検討するため、議会改革推進会議役員会において「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置しました。</p> <p>10月までに6回会議を開催し、「三重県議会貸与タブレット型端末機使用基準」をはじめとしたタブレットの運用について検討を行ったほか、実際にWeb形式で会議を開催して課題を検証するなど、議会のスマート化に向けて検討を行っています。</p>	
	
Web会議	

3月	⑧ 全議員にタブレットを配付《タブレット勉強会を実施》
<p>3月23日、議会のスマート化に資するため全議員にタブレット端末を配付しました。</p> <p>なお、7月13日には、全ての議員がタブレットを活用できるよう「議会改革推進会議」が主催となり、議員向けに操作説明会を実施しました。</p>	
	
タブレット操作説明会	

6月	⑨ 「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置 《三重県議会議員の政治倫理に関する検討を始める》
<p>6月28日、三重県議会議員の政治倫理に関する検討を行うため、議会改革推進会議役員会において「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置しました。</p> <p>10月までに3回会議を開催し、議員によるSNS上での書込みに関する代表者会議での議論の経緯や他県議会の状況等を共有し、三重県議会議員の政治倫理に関する条例の運用に向けての検討を行っています。</p>	
	
三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議	

1月～

⑩ 新型コロナウイルス感染症等に対応するため緊急会議を7回開催
《補正予算を可決》

新型コロナウイルス感染症等に対応するため、1月29日から9月22日にかけて緊急会議を7回開催しました。

新型コロナウイルス感染症への対応では、医療提供体制の整備や事業者への時短要請等に伴う協力金等に関する補正予算（累計約430億円）を審議・可決しました。

また、5月の第2回緊急会議では、豚熱の防疫措置等に関する補正予算（約7億円）を審議・可決するとともに、8月の第5回緊急会議では、三重県知事選挙等の実施に関する補正予算（約9億円）を審議・可決しました。



第7回緊急会議